

hp StorageWorks

NAS B2000クイック スタート ガイド

製品番号 292283-192

2002年11月 (第2版)

製品バージョン: 1.0

このクイック スタート ガイドは、StorageWorks NAS B2000を配備する方法について説明します。



i n v e n t

© 2002 Hewlett-Packard Company
© 2002 日本ヒューレット・パッカー株式会社

Hewlett-Packard Companyは、本書についていかなる保証（商品性および特定の目的のための適合性に関する黙示の保証を含む）も与えるものではありません。Hewlett-Packard Companyは、本書中の誤りに対して、また本書の供給、機能または使用に関連して生じた付随的損害、派生的損害または間接的損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護されている機密情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packardの事前の書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他の言語に翻訳することはできません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

Compaq Computer Corporationは、Hewlett-Packard Companyの完全所有子会社です。

Microsoft、WindowsおよびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、そのままの状態を提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett-Packard Company製品に対する保証については、当該製品に付属の限定保証書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれています。

NAS B2000クイック スタート ガイド

2002年11月（第2版）
製品番号 292283-192

目次

このガイドについて

対象読者	v
安全に使用していただくために	v
装置の記号	v
ラックに関する注意	vii
本文中の記号	vii
表記上の規則	viii
参考資料	viii
HPのWebサイト	viii

第1章

製品の概要

コンフィギュレーション オプション	1-1
NAS B2000の管理	1-2
依存関係および要件	1-3
ストレージ要件	1-3
IPネットワーキングおよびセットアップ要件	1-3
ネットワークへのNAS B2000の配備	1-4
セットアップと構成の概要	1-6
ストレージ マネジメントの概要	1-7
ストレージ マネジメント エlement	1-7
ストレージ Element	1-9
論理ストレージ Element	1-9
固定ストレージ管理 (Persistent Storage Manager) Element	1-9
ファイル システム Element	1-10
ファイル共有Element	1-11

第2章

初期設定を開始する前に

初期設定前.....	2-1
設定用の情報の収集.....	2-1
設定情報.....	2-1

第3章

コンフィギュレーション セットアップ

設定の方法.....	3-1
WebUIによる設定.....	3-2
(RapidLaunchを介した)自動検出による方法.....	3-2
(ホスト名を使用した)直接アクセス方式.....	3-9
システム設定の完了.....	3-11

索引

このガイドについて

このガイドは、StorageWorks NAS B2000を配備する手順について順番に説明します。

対象読者

このガイドは、読者が、Microsoftの管理手順およびファイル共有プロトコルの知識を持っていることを前提としています。NAS B2000をセットアップする前に、これらの項目に関する補足資料を準備することをおすすめします。

安全に使用していただくために

同梱の『安全に使用していただくために』をよく読んでから、製品のインストールを開始してください。

装置の記号

安全上の注意が必要な装置の各部には、以下の記号が表示されています。



警告: 以下の記号と組み合わせて使用され、危険があることを示します。警告事項に従わないと、けがをする場合があります。詳しくは、ご使用のマニュアルを参照してください。



装置に高電圧が発生する回路があることや、装置の表面または内部部品に触れると感電の危険があることを示します。修理はすべて、資格のある担当者に依頼してください。

警告: 感電を防止するために、カバーを開けないようにしてください。メンテナンス、アップグレード、および修理はすべて、資格のある担当者に依頼してください。



装置の表面または内部部品に触れると感電の危険があることを示します。カバー内には、ユーザや使用現場の担当者が修理できる部品は入っていません。カバーは、絶対に開けないでください。

警告: 感電を防止するために、カバーを開けないようにしてください。



これらの記号が貼付されたRJ-45ソケットはネットワーク インタフェース接続を示します。

警告: 感電、火災または装置の損傷を防止するために、電話または電気通信用のコネクタをこのソケットに接続しないようにしてください。



装置の表面または内部部品の温度が非常に高くなる可能性があることを示します。この表面に手を触れるとやけどをする場合があります。

警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、システムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



電源やシステムにこれらの記号が付いている場合、装置の電源が複数あることを示します。

警告: 感電しないように、電源コードをすべて抜き取ってシステムの電源を完全に切ってください。



重量kg
重量lb

製品や機械にこの記号が付いている場合、1人で安全に取り扱うことができる重量を超えていることを示します。

警告: けがや装置の損傷を防ぐために、各地域で定められた重量のある装置の安全な取り扱いに関する規定に従ってください。

ラックに関する注意



警告: けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックの水平脚を床まで延ばしてください。
 - ラックの全重量が水平脚にかかるようにしてください。
 - 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
 - 複数のラックを設置する場合は、ラックを連結してください。
 - コンポーネントは一度に1つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。
-

本文中の記号

本文中の以下の記号の意味を示します。



警告: その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがある警告事項を表します。



注意: その指示に従わないと、装置の損傷やデータの消失を引き起こす恐れがある注意事項を表します。

重要: 詳しい説明や具体的な手順を示します。

注: 解説、補足または役に立つ情報を示します。

表記上の規則

このガイドでは、以下の表記規則を採用しています。

- イタリック体は、変数を示します。変数には、本文中のさまざまなシステム出力、コマンドライン、コマンドパラメータに関する情報が含まれます。
- **太字**は、強調すべき画面上の選択項目（メニュー オプション、コマンド名、ダイアログボックス名など）と、キーボードのキーを示します。
- Monospaceフォントは、コード例、画面表示、ユーザ入力を示します。

参考資料

このガイドで説明する項目について詳しくは、以下の資料を参照してください。

- 『hp StorageWorks NAS B2000アドミニストレーション ガイド』
- 『hp StorageWorks NAS B2000クイック リファレンス ガイド/ラック インストレーション ガイド』
- 『hp StorageWorks NAS B2000リリース ノート』

HPのWebサイト

HPのWebサイトでは、最新のドライバやフラッシュROMに関する製品情報を提供していません。HPのWebサイト<http://www.hp.com/jp>にアクセスするには、インターネットにログオンする必要があります。

製品の概要

この章では、HP StorageWorks NAS B2000のコンフィギュレーション オプション、セットアップ、および構成の依存関係と要件について説明します。

コンフィギュレーション オプション

NAS B2000は、ファイル サービス専用設計されており、拡張し続ける環境向けに最適化された性能を提供します。NAS B2000では、ビジネスの成長に合わせて、ダウン時間や性能の低下を伴うことなくストレージ容量を拡張できます。

NAS B2000は、内蔵と外付の両方のストレージ オプションを提供します。NAS B2000は、内蔵ストレージおよび3台の72.8GBドライブ用に内蔵Smartアレイ5iコントローラを装備していません。

内蔵Smartアレイ5iコントローラの外部SCSIポートを使用すると、StorageWorks 4300ファミリストレージ エンクロージャ（筐体）を1つ追加することもできます。このエンクロージャにより、146GBドライブを搭載する外付ストレージ オプションとして、2TB（テラバイト）のストレージを追加できます。

外付ストレージ オプションとしては、さらに、最大3枚のSmartアレイ5300ファミリ アレイ コントローラを空きPCIスロットに取り付けることによって、ハードディスク ドライブを最大限に装備した最大12のStorageWorks 4300ファミリ ストレージ エンクロージャを追加することができます。このオプションをSmartアレイ5iのサポートと組み合わせると、186台の146GBハードディスク ドライブを使用して合計27TBのストレージ容量を実現できます。

NAS B2000の管理

NAS B2000は、工場出荷時にデフォルトのシステム設定とインストール済みのNASオペレーティングシステムで設定されています。これに対して、ストレージは、事前には設定されておらず、NAS管理者が環境要件に合わせて構成したり設定したりすることができます。詳しくは、この章のストレージ管理に関する項を参照してください。

NAS管理者は、アレイ コンフィギュレーション ユーティリティ (ACU) を使用してハードウェア ストレージを管理し、Windows論理ディスク マネージャ (LDM) を使用して論理ストレージを管理します。

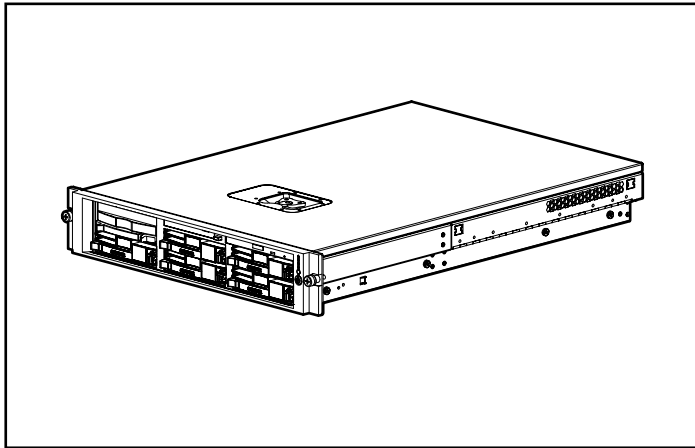


図1-1: NAS B2000デバイス

依存関係および要件

NAS B2000を動作させるには、特定の条件を満たす必要があります。

ストレージ要件

ハードディスクドライブ障害によるデータの消失を防ぐために、フォールトトレランスを念頭においてアレイを設定する必要があります。いくつかのフォールトトレランス方式が開発されています。これらについては、『hp StorageWorks NAS B2000アドミニストレーションガイド』を参照してください。

IPネットワーキングおよびセットアップ要件

NAS B2000デバイスのIPネットワーキングおよびセットアップ要件は、次のとおりです。

- NAS B2000と同じネットワークセグメント上のMicrosoft Internet Explorer 5.5（またはそれ以上）が動作するWindowsベースのPC。NASデバイスのセットアップと管理に使用
- オプションのリモートInsightボードLights-Out Editionに対するスイッチまたはハブ上に1つのEthernet接続
- クライアントサブネットに対する追加のEthernet接続ポート（注文したネットワークオプションによる）

重要: 管理ポートと同じネットワークセグメント上にRapidLaunchクライアントおよびNAS B2000が必要です。ない場合は、RapidLaunchユーティリティがNAS B2000を検出しません。

ネットワークへのNAS B2000の配備

デフォルトの出荷時構成では、内蔵10/100ネットワーク インタフェース コントローラ (NIC) の2つのポートをクライアント データ アクセスに使用することができます。これらのデータポートによって、製品に付属のWebユーザ インタフェース (WebUI) にアクセスすることもできます。管理手順のほとんどは、WebUIから実行することができます。リモート コンソールおよび診断用の追加の管理ポートとして、リモートInsightボードLights-Out Editionが提供されています。利用可能な場合、この接続は、企業インフラストラクチャとは別の管理用LANに設置することをおすすめします。

NAS B2000は、NICチームングの使用をサポートします。NICチームングは、NAS B2000ネットワーク ポートのフェールオーバと負荷均一化を提供します。NICチームングが動作するには、同じサブネット上にネットワーク ケーブルをインストールする必要があります。ただし、NICチームングのインストールとセットアップを行う前に、チームングや負荷均一化を行うポートにIPアドレスを割り当てることはおすすめできません。したがって、すべてのネットワークポートをDHCPに設定することをおすすめします。セットアップ終了後のNICチームングの構成に関する情報については、『アドミニストレーション ガイド』を参照してください。

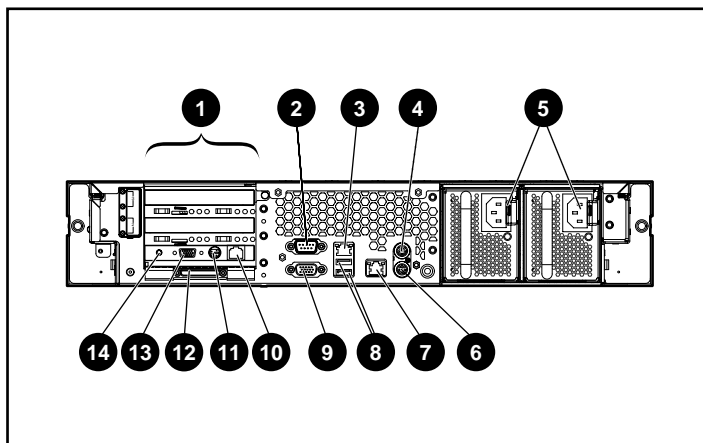


図1-2: リア パネルのコネクタ

表1-1: リア パネルのコネクタ

番号	説明
①	PCI拡張スロット
②	シリアル コネクタ (青緑色)
③	NIC 2用RJ-45コネクタ (Eth1)
④	マウス コネクタ (PS/2) (緑色)
⑤	電源コネクタ
⑥	キーボード コネクタ (PS/2) (紫色)
⑦	NIC 1用RJ-45コネクタ (Eth0)
⑧	USBコネクタ (2) (黒色)
⑨	ビデオ コネクタ (青色) (RILOEボードがインストールされている場合サポートされません)
⑩	リモートInsightボードLights-Out Edition (RILOE) のEthポート (このボードはオプションです)
⑪	キーボード/マウス コネクタ (オプションのリモートInsightボードLights-Out Edition) (不要、内部接続)
⑫	VHDCI SCSIコネクタ (SCSIポート1)
⑬	ビデオ コネクタ (オプションのリモートInsightボードLights-Out Edition)
⑭	外付アダプタ電源コネクタ (オプションのリモートInsightボードLights-Out Edition)

セットアップと構成の概要

システム設定は、明確に定義された一連の処理からなります。この項では、詳細な手順を順番に説明することはせず、処理の概要を説明します。詳細な手順は、『アドミニストレーション ガイド』に記載されています。一部の手順は、WebUIのウィザードに従って行います。どちらのセットアップでも、開始する前にすべての付属マニュアルに目を通すことが重要です。関連するマニュアルは次のとおりです。

- 『hp StorageWorks NAS B2000アドミニストレーション ガイド』
- 『hp StorageWorks NAS B2000クイック リファレンス ガイド/ラック インストレーション ガイド』
- 『hp StorageWorks NAS B2000リリース ノート』

NAS B2000を設定するには、以下の手順に従ってください。

1. このガイドの第2章と第3章を参照して、NASデバイスを設定します。
2. **オプションの手順です。** NICチーミング ソフトウェアをインストールし、フォールト トolerantな、または負荷均一化を行うネットワーク ポートを作成します。このガイドと『アドミニストレーション ガイド』の推奨手順に従ってください。
3. **推奨手順です。** 管理が容易になるように、NASデバイスをアクティブ ディレクトリまたはWindows NT 4.0ドメインに設置します。
4. デバイス マネージャ内での識別を容易にするために、システムをオンラインにして、ACUでアレイと論理ボリューム (LUN) を1つずつ作成します。『アドミニストレーション ガイド』のストレージ マネジメントに関する項の手順を参照してください。
5. 論理ディスク マネージャを使用して、ディスクへの署名の書き込み、ディスクのマーク付け (ベーシックまたはダイナミック ディスク)、対応するパーティション、拡張パーティション、またはボリュームの作成、ドライブ文字またはマウント ポイントの割り当て、およびドライブのフォーマットを行います。この手順の詳細については、LDMのオンラインヘルプを参照してください。
6. **オプションの手順です。** NFS共有、NCP、およびAppleTalkなどのプロトコルを使用可能にします。詳細な手順については、『アドミニストレーション ガイド』を参照してください。
7. **オプションの手順です。** 前述の手順で述べたプロトコルに対応した共有を作成します。共有にアクセス権を供与してください。

『アドミニストレーション ガイド』の残りの項に目を通してください。

ストレージ マネジメントの概要

この項では、NASストレージ構造を構成するコンポーネントの概要を説明します。コンポーネントと、コンポーネント間の関係については、『アドミニストレーションガイド』を参照してください。



注意: NAS管理者は、必ず、ストレージ マネジメントおよびWindows LDMについてのこの項に目を通してください。この項は、StorageWorks NASデバイスを正しく使用するための基礎となる概念と要件を説明しています。この項と『アドミニストレーション ガイド』のストレージ マネジメントについての該当する項に目を通さないで作業すると、データの消失やファイルの破壊が発生することがあります。

ストレージ マネジメント エLEMENT

図1-3に、NAS B2000のさまざまなストレージ コンポーネントを示します。ストレージは、次の5つの部分に大きくわかれます。

- ストレージ エLEMENT
- 論理ストレージ エLEMENT
- Persistent Storage Manager ELEMENT
- ファイル システム エLEMENT
- ファイル共有ELEMENT

これらの各ELEMENTは、図に示した1つ前のレベルのELEMENTで構成されています。

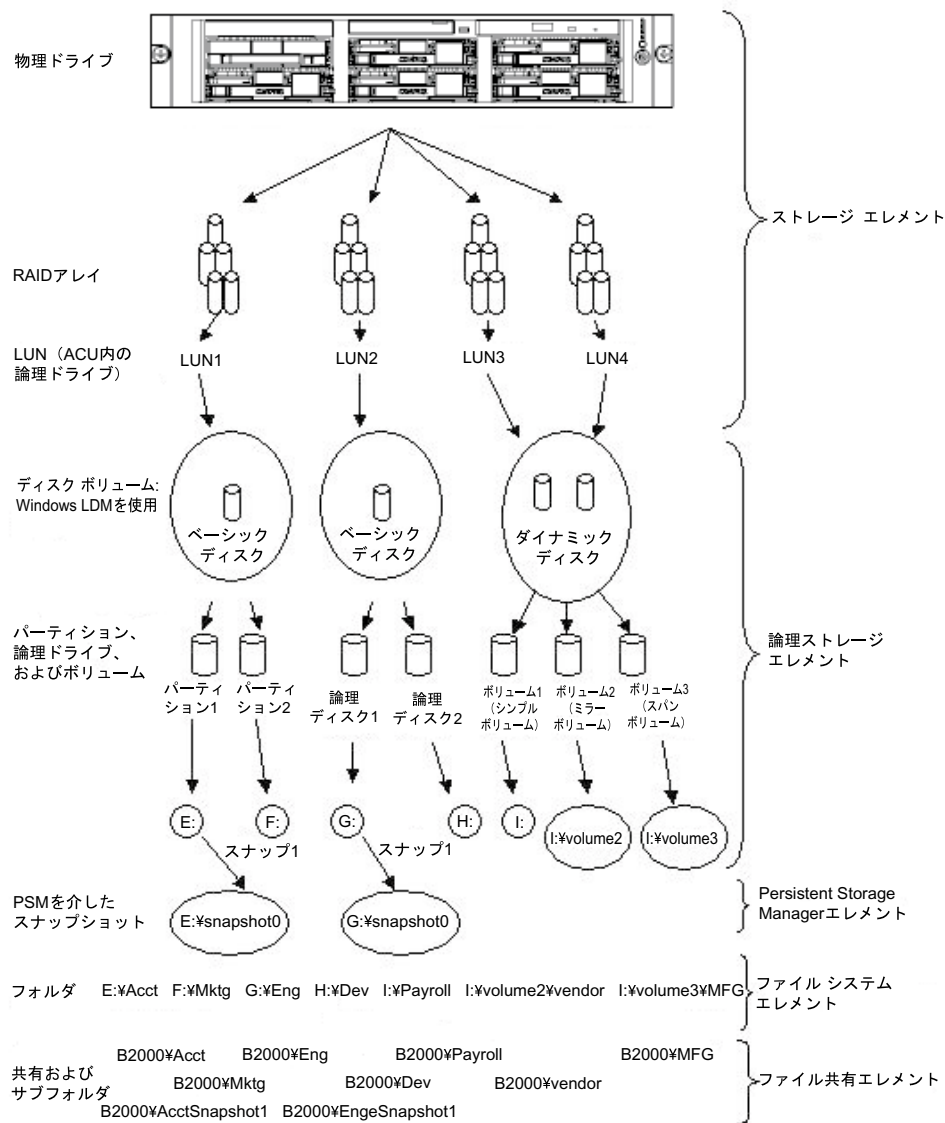


図1-3: ストレージ マネジメント プロセス

ストレージ エLEMENT

NAS B2000上のストレージ マネジメントの一番下のレベルは、物理ドライブのレベルです。フォールト トレランスを実現し、高パフォーマンスを得るために、物理ドライブはRAIDアレイにグループ化されます。エンド ユーザは、ACUを使用してRAIDアレイを設定しなければなりません。RAIDアレイの作成について詳しくは、『アドミニストレーション ガイド』を参照してください。

論理ストレージ エLEMENT

図1-3に示すように、論理ストレージ エLEMENTは、物理ストレージ エLEMENTをファイル システム エLEMENTに変換するコンポーネントで構成されます。B2000は、Microsoft論理ディスク マネージャ (LDM) を使用してファイル システムに提供される各種のディスクを管理します。LDMには、ベーシック ディスクとダイナミック ディスクの2つのタイプのLUN提供があります。これらのディスク タイプはそれぞれ、異なる種類の管理を可能にする特別な機能を備えています。ベーシック ディスクを使用すると、パーティションや拡張パーティションを作成できます。パーティションには、最大2TBのLUNを1つだけを含むことができます。ダイナミック ディスクを使用すると、複数のLUNにまたがる最大64TBのボリュームを作成できます。作成したボリュームやパーティションは、ドライブ文字やマウント ポイントを割り当て、フォーマットし、オペレーティングシステムが使用できるように提供することができます。

固定ストレージ管理 (Persistent Storage Manager) エLEMENT

Persistent Storage Managerにより、管理者は、スナップショットと呼ばれるディスクの複製を作成できます。スナップショットにより、実務データを物理的にコピーしなくても、データの多目的論理複製を作成できます。スナップショットは、消失したファイルやディレクトリの迅速な復旧に使用できます。また、スナップショットを使用すると、新規アプリケーションのテストを、「真の」データに影響を及ぼすことなく実際のデータを使用して行うことができます。スナップショットは、バックアップ用のデータの供給元にもできます。スナップショットは、データの一時的なバックアップであり、永続的なバックアップとしては作成されません。

スナップショットは、ボリューム、パーティション、または論理ドライブの提供する既存の領域を使用して、元データの提供に必要なデータを維持します。この領域は、キャッシュ ファイルと呼ばれます。デフォルトでは、キャッシュ ファイルは、論理ストレージ エLEMENTの利用可能領域の10%を使用します。スナップショットは「読み出し専用」、「読み出し/書き込み」、または「常に保持」に設定できます。また、スナップショットが共有されている場合、ユーザによるスナップショットへのアクセスとデータの編集が可能になります。書き込みアクセスが有効になっているスナップショットが共有されている場合は、元のボリュームの2つ目のスナップショットを作成しておく必要があります。ボリュームの2つ目のスナップショットを作成しないと、元のスナップショットのバックアップは存在しなくなります。

スナップショットとは

- スナップショットは、ボリューム、パーティション、または論理ドライブ単位で作成されます。
- スナップショットは、「読み出し専用」、「読み出し/書き込み」、または「常に保持」に設定できます。
- スナップショットは、ボリューム、パーティション、または論理ドライブのルートに、マウントポイントとしてマウントされます。
- スナップショットは、他のフォルダ、ドライブ、またはマウントポイントと同じ方法で共有できます。
- スナップショットは、本来、一時的なものとして作成されます。
- ディスク容量が足りなくなった場合は、「常に保持」に設定されていないスナップショットは、自動的に削除されます。
- Persistent Storage Managerは、元になるデータが最初に変更された時点で、キャッシュファイルにのみ書き込みを行います。

Persistent Storage Managerに関する詳細な資料は、『アドミニストレーション ガイド』の第6章にあります。

ファイルシステム エlement

ファイルシステム エlementは、各論理ストレージ エlement（パーティション、論理ディスク、およびボリューム）の下に作成されたフォルダおよびサブフォルダで構成されます。フォルダは、使用できるファイル システムをさらに細かく分割するために使用され、情報スペースの管理におけるもう1つの単位を提供します。これらの各フォルダは、ネットワーク アクセスに使用できる固有の権限および共有名を持つことができます。フォルダは、個々のユーザ、グループ、プロジェクトなどを対象に作成できます。ファイル システム エlementの詳細については、『アドミニストレーション ガイド』を参照してください。

ファイル共有エレメント

NAS B2000は、CIFS、NFS、FTP、HTTP、NCP、およびAppleTalkなど各種のファイル共有プロトコルをサポートします。各フォルダまたは論理ストレージ エレメントで、特定のネットワーク名を使用してさまざまなファイル共有プロトコルを有効にすることができるため、ネットワーク経由でさまざまなクライアントにアクセスできます。これらの共有には、各ファイル共有プロトコル内で、ユーザまたはユーザのグループに基づいて権限を付与することができます。ファイル システム エレメントの詳細については、『アドミニストレーション ガイド』を参照してください。

初期設定を開始する前に

この章では、HP StorageWorks NAS B2000に必要な初期設定前の作業および設定作業について説明します。

初期設定前

インストール プロセスを開始する前に、ハードウェアのインストールが完了していることを確認してください。NAS B2000がラック内に完全にインストールされていることと、すべてのケーブルやコードが接続されていることを確認してください。この項および次の項に記載されているセットアップユーティリティは、NAS B2000のネットワーク コンポーネントの基本的なセットアップだけを実行します。

重要: ラックのインストールやハードウェアの接続については、梱包箱に同梱の『クイック リファレンス ガイド/ラック インストレーション ガイド』を参照してください。

設定用の情報の収集

NAS B2000を初期設定する前に、ホスト名を選択して一般情報を収集します。

設定情報

DHCP (Dynamic Host Control Protocol) 構成と非DHCP構成の両方でNASデバイスの初期設定に必要な一般情報を収集します。この情報は、設定中に必要になります (表2-1を参照)。NASデバイスの設定を始める前に、内容をよく理解しておいてください。

表2-1: 設定情報

パートA: DHCPおよび非DHCPのすべての構成			
サーバホスト名:			
リモートInsightボード Lights-Out Edition名 (使用可能な場合):	リモートInsightボード Lights-Out Edition デフォルトユーザ (使用可能な場合):	パスワード (使用可能な場合):	
<p>注: NICチームングを実装する場合、チーム化するポートを決定します。これらのEthernetポートは、DHCPプロトコル用に設定します。詳細については、『アドミニストレーションガイド』の管理手順を説明している部分にあるEthernetチームング機能と手順の項を参照してください。</p>			
パートB: 非DHCP構成のみ			
DNSサーバ	IPアドレス		
1			
2			
3			
NAS NICポート*	IPアドレス	サブネットマスク	ゲートウェイアドレス
Eth 0			
Eth 1			
リモートInsight ボードLights-Out Edition Eth			
<p>* デフォルトのNAS B2000には、ネットワーク接続用に2つのポートがあります。未使用ポートは無効にしてください。各Ethernetポートは、別々のサブネットで構成する必要があります。</p>			

続く

表2-1: 設定情報 (続き)

パートB: 非DHCP構成のみ	
パートC: SNMP情報 (オプション)	
トラップ送信先 (IPアドレス) マネージャ クライアント:	
管理トラップ コミュニティ ストリング:	
システム管理コミュニティ ストリング:	

コンフィギュレーション セットアップ

この章では、オンラインの方法によるHP StorageWorks NAS B2000の設定について説明します。

この章に記載されている作業を開始する前に、NAS B2000がラックにインストールされ、すべてのケーブルとコードが接続されていることを確認してください。また、第2章で述べたように、設定プロセスに必要な特定の情報を収集する必要があります。

設定の方法

NAS B2000を設定するには、NAS B2000に付属のWebUIコンフィギュレーション アプリケーションを使用します。

WebUIによる設定

NAS B2000には、WebUIが付属しています。WebUIは、グラフィカルで使いやすく、設定に必要な情報を収集できるように設計されています。WebUIにアクセスするには、次の2つの方法があります。

- RapidLaunchユーティリティを使用した自動検出モードによる方法
- ホスト名による方法

(RapidLaunchを介した) 自動検出による方法

NAS B2000には、RapidLaunch CDが付属しており、Internet Explorer 5.5 (またはそれ以降) を使用するWindowsベースのどんなPC上でも実行することができます。

要件

WebUIコンフィギュレーション アプリケーションを実行するには、以下の品目が必要です。

- NAS B2000と同じネットワーク セグメント上の、Internet Explorer 5.5 (またはそれ以降) がロードされたWindowsベースのPC
- RapidLaunch CD

注: NAS B2000は、モニタ、キーボードおよびマウスなしで配備されるように設計されています。これらのポートは利用可能で、使用されている場合は、NASデバイスでサポートされます。

手順

WebUIコンフィギュレーション アプリケーションを使用してNAS B2000を初期設定するには、以下の手順に従ってください。



注意: 手順1~5を完了するまでは、NASデバイスの電源を入れないでください。

1. 第2章の「設定情報」にある情報に従って、NAS B2000の各ネットワーク ポートと対応するネットワーク セグメントにEthernetケーブルを接続します。
NAS B2000上のネットワーク ポートの位置については、図3-1および表3-1を参照してください。
2. WindowsベースのPCクライアントがNAS B2000と同じサブネットに接続されていることを確認します。
3. WindowsベースのPCの電源を入れ、オペレーティング システムが完全にロードされるまで待ちます。
4. CD-ROMドライブにRapidLaunch CDを挿入します。
5. RapidLaunch CDが自動的に実行されます。プログラムが自動的に起動しない場合は、プログラムを手動で実行することができます。Windowsのタスクバーから[スタート]、[ファイル名を指定して実行]の順に選択し、次のように入力します。
`{CD-ROMドライブ文字}:¥setup.exe`
インタフェースが起動するまで待ちます。
6. NASデバイスに移動し、電源を入れます。ネットワーク上でNASデバイスがアクセス可能になるまで、数分かかります。
7. WindowsベースのPCに戻ります。[Show]ドロップ ダウン リストから[NAS Devices]を選択し、図3-2に示すように、RapidLaunchにネットワーク上のすべてのNASデバイスを表示させます。

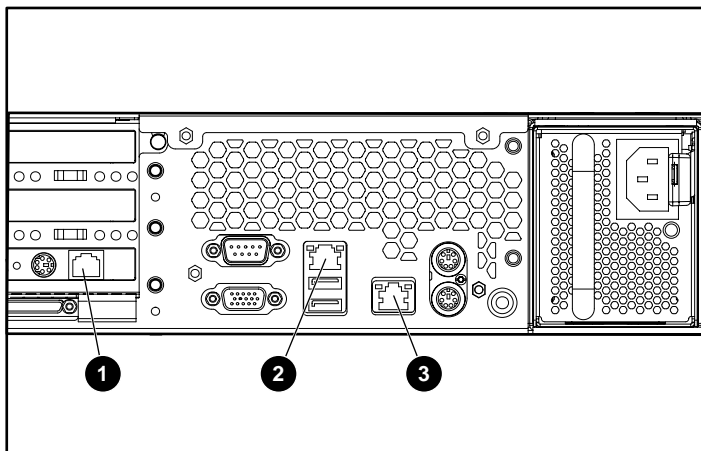


図3-1: Ethernetコネクタ

表3-1: Ethernet ネットワーク コネクタ

番号	説明
①	リモートInsightボードLights-Out Edition Ethernetポート (RILOE Eth) (ボードはオプション)
②	NIC Ethernetポート1 (Eth 1)、データ用
③	NIC Ethernetポート0 (Eth 0)、データ用

注: NAS B2000の未使用のEthernetポートにはループバック ケーブルを接続してください。

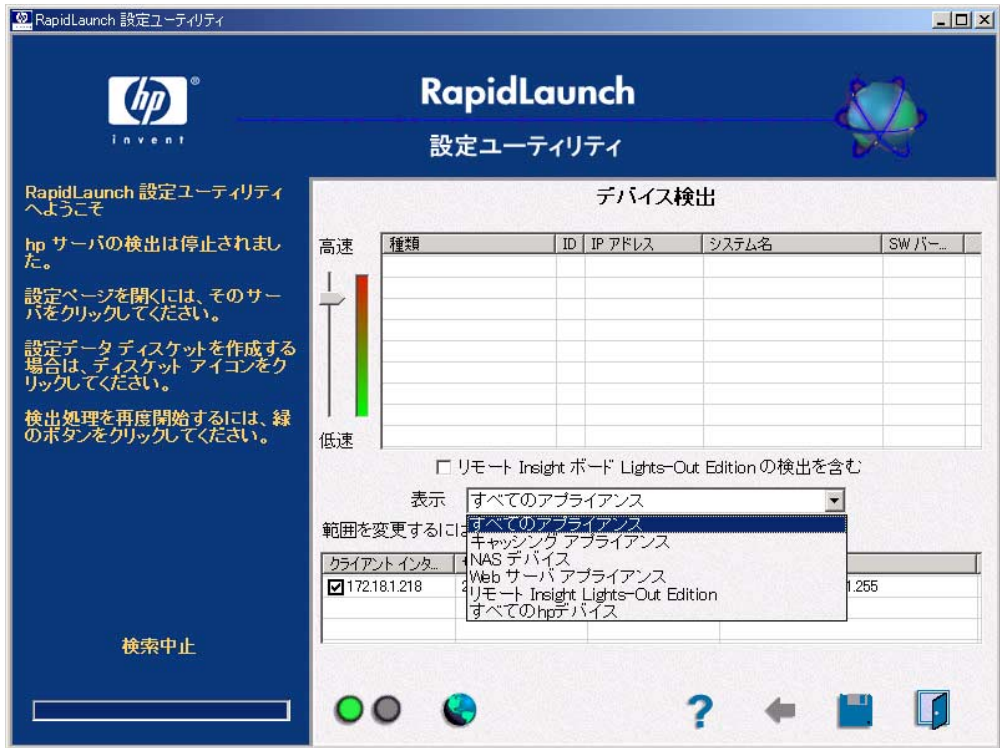


図3-2: RapidLaunch検索画面

8. 図3-3に示すように、ネットワーク上で検出されたすべてのNASデバイスが表示されます。NASデバイスは、画面のデバイス検出部分に表示されます。ネットワーク上のNASデバイスが検出されるまで、数分かかることがあります。

注: RapidLaunchユーティリティは定期的に更新し、ネットワーク上の新しいデバイスを検出します。**[検出開始]**ボタンを選択して、デバイス リストを手動で更新することもできます。



図3-3: RapidLaunchデバイス検出画面

9. デバイス リストからStorageWorks NAS B2000デバイスを選択します。図3-4に示すように、ターゲットStorageWorks NASデバイス上で、WebUIコンフィギュレーション アプリケーション (ラピッド スタートアップ) が起動します。

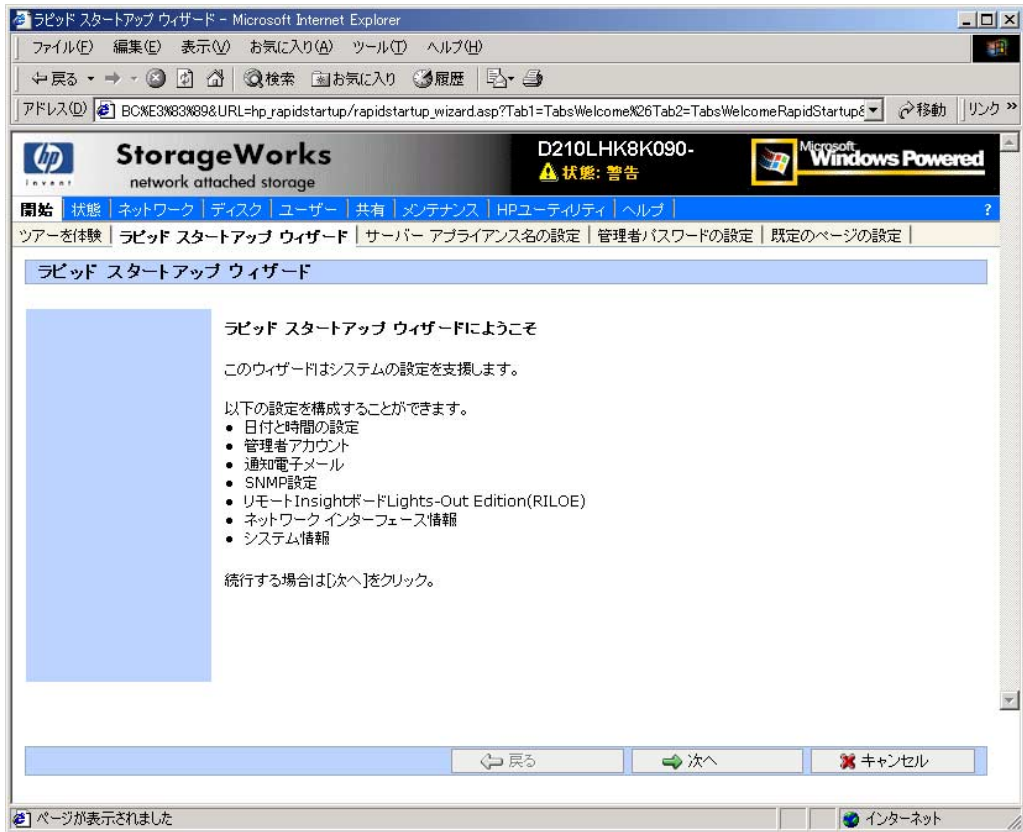


図3-4: [ラビッド スタートアップ ウィザード]画面

10. 表2-1の情報を参照して、連続して表示される各画面で入力を行います。図3-5に示すように設定の確認画面が表示されたら、情報が正しいことを確認します。
11. [完了]アイコンをクリックしてRapid Startupを終了します。ブラウザ ウィンドウを閉じます。NAS B2000が再起動し、設定情報が設定されます。
12. RapidLaunchユーティリティを終了し、RapidLaunch CDをCD-ROMドライブから取り出して、安全な場所に保管します。

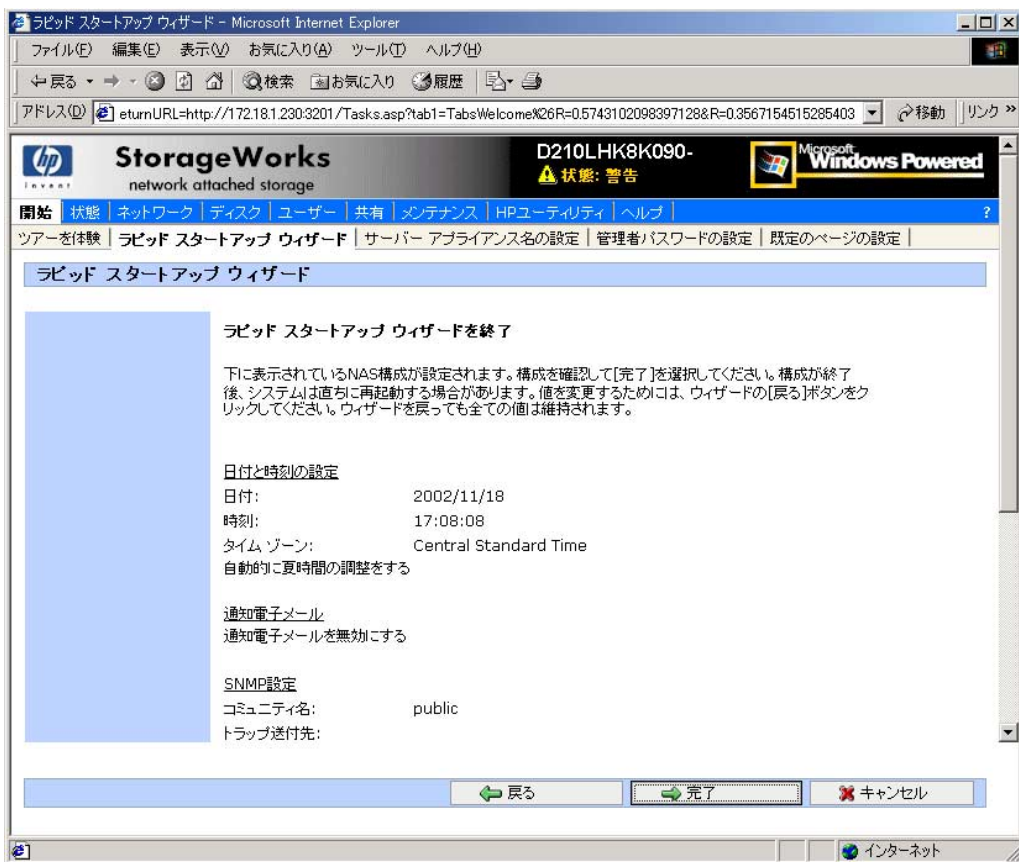


図3-5: Rapid Startup設定確認画面

(ホスト名を使用した) 直接アクセス方式

NAS B2000は、デフォルトとしてネットワーク ポート上でDHCPが使用可能な状態で出荷されます。システムがDHCPサービスのネットワークに配備され、デバイスのシリアル番号がわかっている場合、そのネットワーク上のMicrosoft Internet Explorer 5.5 (またはそれ以降) の動作するクライアントからデバイスの3201ポートを使用してアクセスすることができます。図3-6に示すように、シリアル番号は、NAS B2000のフロント ベゼルの後ろにあります。

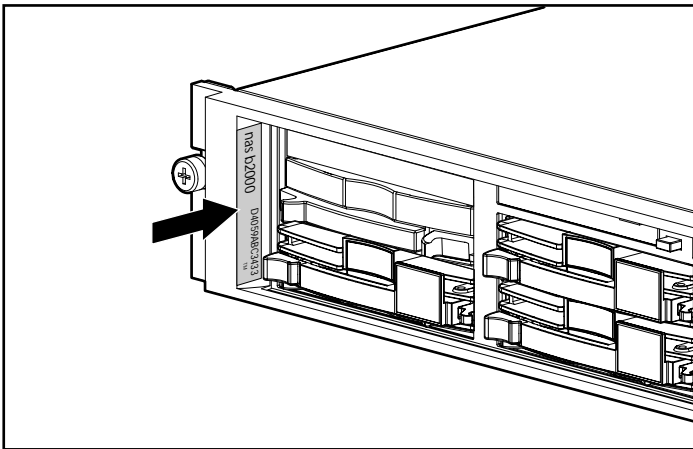


図3-6: シリアル番号の位置

要件

WebUIコンフィギュレーション アプリケーションを実行するには、以下の品目が必要です。

- NAS B2000と同じセグメント上の、Internet Explorer 5.5 (またはそれ以降) がロードされたWindowsベースのPC
- DHCPサービスのネットワーク
- NAS B2000のシリアル番号

注: NAS B2000は、モニター、キーボードおよびマウスなしで配備されるように設計されています。これらのポートは利用可能で、使用されている場合は、NASデバイスでサポートされます。

手順

Web UI設定アプリケーションを使用してNAS B2000を初期設定するには、以下の手順に従ってください。

1. 第2章の「設定情報」にある情報に従って、NAS B2000の各ネットワーク ポートと対応するネットワーク セグメントにEthernetケーブルを接続します。

NAS B2000上のネットワーク ポートの位置については、図3-1および表3-1を参照してください。

2. NASデバイスに移動し、電源を入れます。ネットワーク上でNASデバイスがアクセス可能になるまで、数分かかります。
3. WindowsベースのPC上でInternet Explorerを開きます。「http://」、NAS B2000のシリアル番号、ハイフン(-)、「:3201」の順に入力します。**Enter**キーを押します。図3-4に示すように、ターゲットStorageWorks NASデバイス上で、WebUIコンフィギュレーション アプリケーション (Rapid Startup) が起動します。

例: `http://D4059ABC3433-:3201`

注: NASオペレーティングシステムが起動すると、NASデバイスによって通知されます。

4. 表2-1の情報を参照して、連続して表示される各画面で入力を行います。図3-5に示すように設定の確認画面が表示されたら、情報が正しいことを確認します。
5. **[Finish]**アイコンをクリックしてRapid Startupを終了します。ブラウザ ウィンドウを閉じます。NAS B2000が再起動し、設定情報が設定されます。

システム設定の完了

設定プロセス後に、ネットワーク上でファイル共有を開始するために作業を行なう必要があります。設定作業のすべての手順については、『NAS B2000アドミニストレーション ガイド』を参照してください。設定作業には以下の手順が含まれます。

- システムの日付および時刻の変更
- ファイル共有の確立とアクセス権の作成

上記の設定手順は必須ですが、更に、以下のようなオプションの作業が必要となる場合があります。

- 追加のプロトコルおよび関連ファイル共有の有効化
- NICチームング

D

- DHCP (Dynamic Host Control Protocol) 2-1
- DHCP (Dynamic Host Control Protocol) 構成と非DHCP 構成 2-1
- Dynamic Host Configuration Protocol 「DHCP」を参照

E

- Ethernetコネクタ、図 3-4
- Ethernetネットワーク コネクタ、表 3-4
- Ethernetポート 構成 2-2
- ループバック ケーブル 3-4

H

- HPのWebサイト viii

N

- NAS B2000デバイス、図 1-2
- NAS B2000のリアパネルのコネクタ、図 1-4
- NIC コネクタ 1-5

R

- Rapid Startupウィザード画面、図 3-7
- Rapid Startup設定確認画面、図 3-8
- RapidLaunch CD 3-3
- RapidLaunch検索画面、図 3-5
- RapidLaunchデバイス検出画面、図 3-6
- RJ-45コネクタ 1-5
- RJ-45ソケット 警告 vi
装置の記号 vi

S

- StorageWorks NAS B2000 IPネットワークングおよびセットアップ要件 1-3
- 依存関係および要件 1-3
- 設定 3-1
- セットアップと構成の概要 1-6
- 配備 1-4

U

- USBコネクタ 1-5

V

VHDCI SCSIコネクタ 1-5

W

WebUIによる設定 3-2
自動検出による方法 3-2
自動検出による方法、
手順 3-3
自動検出による方法、
要件 3-2
直接アクセス方式、
手順 3-10
直接アクセス方式、
要件 3-9
(ホスト名を使用した)
直接アクセス方式 3-9

あ

安全に使用していただくために
v

か

拡張スロット 1-5
感電
警告 vi
装置の記号 vi

き

キーボード コネクタ 1-5
キーボード/マウス コネクタ 1-5
記号
装置 v
本文中 vii

け**警告**

1人で安全に取り扱うこと
ができる重量を超えて
いること vi
RJ-45ソケット vi
感電 vi
装置の記号 v
装置の電源が複数あること
vi
装置の表面または内部部品
の温度 vi
本文中の記号 vii
ラックに関する注意 vii

こ**コネクタ**

NIC 1-5
RJ-45 1-5
USB 1-5
VHDCI SCSI 1-5
キーボード 1-5
キーボード/マウス 1-5
シリアル 1-5
電源 1-5
ビデオ 1-5
マウス 1-5
リモートInsightボード
Lights-Out EditionのEth
ポート 1-5
コンフィギュレーション セット
アップ 3-1

さ

参考資料 viii

し

重量

- 警告 vi
- 装置の記号 vi

初期設定前

- 設定用の情報の収集 2-1
- 初期設定前の作業 2-1
- 初期設定を開始する前に 2-1
- シリアル コネクタ 1-5
- シリアル番号の位置、図 3-9

す

ストレージ マネジメント

- 固定ストレージ管理
(Persistent Storage
Manager) エレメン
ト 1-9

ストレージ エLEMENT 1-9

- ファイル システム エレメ
ント 1-10

- ファイル共有ELEMENT
1-11

論理ストレージ エレメン ト 1-9

ストレージ マネジメント プロ セス、図 1-8

ストレージ マネジメントの概要 1-7

スナップショットとは 1-10

スロット

- PCI、スロット 1-5

せ

製品の概要 1-1

設定 「設定作業」を参照

- WebUI 3-2
- 情報の収集 2-1

設定作業

- システム設定の完了 3-11
- 初期設定前 2-1

設定の方法 3-1

セットアップ、関連するマニ ュアル 1-6

セットアップと構成の概要 NAS B2000 1-6

そ

装置の記号

- 警告 v

装置の電源が複数あること

- 警告 vi

- 装置の記号 vi

装置の表面または内部部品の 温度

- 警告 vi

- 装置の記号 vi

ち

注意

- データの消失 1-7
- ファイルの破壊 1-7
- 本文中の記号 vii

て

電源コネクタ 1-5

は

配備

- StorageWorks NAS
B2000 1-4

ひ

ビデオ コネクタ 1-5

表、Ethernetネットワーク コネ クタ 3-4

表記上の規則 viii

ま

マウス コネクタ 1-5

ら

ラックに関する注意、警告 vii

り

リモートInsightボードLights-Out
EditionのEthポート、コネク
タ 1-5